



令和7年度 沼津市立 第二中 第二小 千本小 学校グランドデザイン

国・県・市の方針

- ◎「生きる力」の育成
- ◎社会に開かれた教育課程
- ◎県「有徳の人」づくり
- ◎市「責き志を持つ人」づくり
- ◎小中一貫教育の推進
- ◎N-GIGAスクール構想の推進
- ◎コミュニティスクールの推進
- ◎学校規模の適正化

第二中校区小中一貫教育目標



支え合う聴き合う姿勢

子ども・保護者・教師の願い

- 《子ども》楽しい学校、勉強がわかる、授業で発表できる
- 《保護者》あいさつ、生活習慣、勉強がわかる
- 《教職員》自己肯定感を高める主体性、粘り強さ、競争心、信頼性のある学校づくり

学校教育目標

目指す子ども像

あたたかく強くしなやかに

P計画

認め合える子

ねばり強く考える子

耐性があり、自ら行動する子

支持的風土の醸成（安心・承認・自立）

重点目標

自分のよさ 友達のよさがわかる子

D実践

特別活動・生徒指導部

<1-2(1,2・3,4) 2-3(3,4)>

【3校共通：あいさつ・黙働清掃・2分前行動】

あいさつからつながる人間関係作り（あいさつ運動・語先後礼・授業前後等）

認め合いの場の設定

（学級会・帰りの会・行事・ふれあい活動・ペア読書・職員打ち合わせ）

前向きな児童理解

（日々の記録・終礼での情報交換・研修会）

ボランティア活動（回収）

黙働清掃で育む奉仕の心・感謝の心

3小学校の交流活動

自分のつながりのある人にあいさつする子
90%

学習指導・研修部

<1-1(1,2) 1-2(1,2)>

【3校共通：学びに向かう姿勢・聴き方話し方】

★三校共通道徳教育重点項目【A:善悪の判断・自律・自由と責任 B:相互理解・寛容】

基礎基本の定着と確かな学力の育成
（家庭学習のさまり周知・徹底）

（切実感のある学習課題の設定→見通し&振り返り）

相手を意識した聴き方・話し方・表し方

授業での効果的な交流場面の充実

家庭との連携（パンフレットで情宣）

ICTを活用した主体的な学び

読書の充実（朝読書 隙間読書 読み聞かせ）

地域の力を生かした授業

（小小合同授業・校外学習・ゲストティーチャー）

GIGAスクール構想(N-GIGA)の推進

進んで自分の考えを発表したり、友達と話し合ったりする子
90%

健康指導部

<1-3(1,2), 1-2(3)>

【3校共通：メディアコントロールの推奨】

運動する習慣の確立

（運動週間（新体力・縄跳び・持久走）の設定）
（遊びの要素を取り入れた取組の企画運営）

望ましい生活習慣への理解

（メディアコントロールデーへの取組）

保健行事や委員会による自己肯定感の向上

・学校保健委員会（リフレーミング・ピアサポート）

「食」への感謝の気持ちを育む

（給食記念週間・食育授業TT）

C評価

進んで外遊びや運動をする子 85%
早寝・早起き・朝ごはんを心がけている子 90%
給食を好き嫌いなく食べる子 85%

★人権教育・特別支援教育の推進

自他を尊重する心の育成

<1-2(3), 2-2(3)>

ことばの教室

構音障害・吃音・言語発達遅滞の個別支援 在籍学級との連携

<2-2(3)> 通級してよかったと感じる 100%(児童)

学校経営方針

< >内は沼津市教育基本構想の関連する<章・節(項)>

- 1 全教職員で全ての子どもを育てる意識をもち、少人数・小規模校の良さを生かした教育活動を追究する。
- 2 子どもが安心でき、承認し合う中で、自分に自信がもてる支持的風土を醸成する。
- 3 分かる・できる楽しさを味わわせるとともに学び方を身につけさせ、学ぶ楽しさから学校の楽しさにつなげる。
- 4 第二校区の小小・小中の連携とコミュニティスクールによる地域との連携により、子どもの成長につながる教育活動を推進する。
- 5 危機管理意識を高くもち、子どもにとって安全・安心な学校を維持する。
- 6 第一小・千本小との連携・交流により、統合への意欲や期待を高める。
- 7 地区推進委員会との連携・学校統合準備委員会の計画的な推進を行う。

A向上